

☆ おすすめの本 ☆



つくってみよう!

『かわいいパリのハンドメイド』

- あみもの イルドガルド・ドゥーゾ／著 ほるぷ出版
- ねんどアクセサリー カリーヌ・ル・ギロー／著 ほるぷ出版
- ミサンガ フロランス・ペロー／著 ほるぷ出版

『手作りスライムとこむぎねんどの本 だるだるこねこねで楽しい!』

Jamie Harrington, Brittanie Pyper, Holly Homer／著 佐々木有美／監訳 高橋信夫／訳 オライリー・ジャパン

『うごく!あそべる!超かんたん工作』

ヒダオサム／著 こどもくらぶ／編 ポプラ社

- 1 うごけうごけ!紙のおもちゃ
- 2 とんだとんだ!とばせるおもちゃ
- 3 くるくるまわれ!回転するおもちゃ
- 4 どんどんすすめ!のりのおもちゃ
- 5 みんなであそぼ!ゲームのおもちゃ
- 6 まねっこできた!なりきりおもちゃ

『しずかにあみものさせとくれー!』

ベラ・ブロスゴル／著 おびかゆうこ／やく ほるぷ出版
編み物をしたおばあさんは、孫たちにじゃまをされて全然できません。そこで、とうとう家を出てしまったおばあさん。

いったいどこへ行くのでしょうか?



クリスマスとお正月に!

『ばばばあちゃんのクリスマスかざり』

さとうわきこ／作 福音館書店

ばばばあちゃんと子どもたちがすてきなクリスマスかざりを作ります。身近な材料で作れるアイデアいっぱいの楽しい工作絵本です。

『かるたをつくって遊ぼう!』

原口美貴子／著 日本郷土かるた協会／監修 国土社

- 1 いろいろなかるたを見てみよう
- 2 オリジナルかるたをつくってみよう

『こうさぎのかるたづくり』

森山京／作 大社玲子／絵 小峰書店

字を覚えたばかりのこうさぎと、こぎつねと、こりすはかるたづくりにチャレンジすることに…。さあ、どんなかるたをつくるのでしょうか?



あそぼん だいとくしゅう おうち遊びの本 大特集!



寒～い日でもおうちの中でできる遊びがたくさんあるよ!

みんなが夢中になっちゃうような工作や手芸、ゲームなどの遊びを紹介します!



『5回で折れる季節と行事のおりがみ』

いしかわまりこ／作 汐文社

- 1はる 2なつ
- 3あき 4ふゆ



いろいろな物づくりに
ちょうせんしてみよう!
えほんや読み物も
読んでみてね!



『ようふくなおしのモモ一』

片山令子／作 さとうあや／絵 のら書店
シナモン村で洋服直しの店を始めたモモ一。
次々に訪れる村の動物たちと服を通して
なかよくなっていくあたたまるおはなし。

じぶんつく
自分で作ると

クリスマスやお正月が

もっともっと楽しくなるよ!



あそ むかしからつたわる遊びに ちょうせんしよう!

『こまを楽しむ』

『たこを楽しむ』

『けん玉を楽しむ』

『お手玉を楽しむ』

『あやとり・おはじきを楽しむ』

WILL こども知育研究所／編・著 金の星社

やったことあるかな?
おうちの人と一緒に遊んで
教えてもらおう!



たの なぞなぞやゲームなどを楽しもう!

『将棋のすべて しらべてみよう・やってみよう』

村瀬信也／監修 岩崎書店

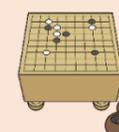
- 1 将棋のしごとをのぞいてみよう
- 2 将棋うんちく王になろう
- 3 ルールを覚えて将棋を指そう



『聖の青春』

『病気と戦いながら将棋日本一をめざした少年』

大崎善生／著 YUME／絵 KADOKAWA
5歳でネフローゼという難病を患った聖は、小学校にも通えず、病院のベッドで過ごす。そんな聖が「将棋」という夢を見つけ、13歳でプロ棋士に弟子入りする。病気と戦いながら夢を追いかけた聖少年の実話。



『しつないあそびの絵本』

WILL こども知育研究所／編・著
すみもとななみ／絵 眞田祥一／監修 金の星社



たの
楽しいなぞなぞに挑戦して
なぞなぞ名人になろう!

『しょうぎはじめました』

間部香代／文 田中六大／絵 文研出版
学童で将棋を覚えたぼく。だけど、上級生にもパパにも負けちゃう。そこで、将棋の強いじいちゃんに教えてもらうことに…。駒の動かし方や将棋のルールもよくわかる絵本だよ。

『はじめての囲碁』入門編・実戦編

東京大学囲碁部／構成・原稿執筆 光永淳造／監修 理論社

『かいけつゾロリのまいにちなぞなぞ1年分』

小野寺ぴりり／作 原ゆたか／原作・監修
アキワシヤ／[ほか]イラスト ポプラ社

『のりものなぞなぞ』

斉藤洋／作 こわせもりやす／絵 講談社
乗り物のなぞなぞを解いて、その答えを絵から探してみよう!
なぞなぞ、絵さがし、乗り物の絵本図鑑として、いろいろな楽しみ方ができるよ。

『うさぎのなぞなぞ屋』

さとうまきこ／作 黒井健／絵 教育画劇
リナが、公園でどんぐりを拾って遊んでいる時、
「なぞなぞ屋」の看板のある家を見つけました。
とんがり屋根にレンガの煙突があるその家に入ってみると、
大きな白いうさぎがいて、リナになぞなぞを出すのでした。

『ウォーリーをさがせ!ましがいもさがせ!』
マーティン・ハンドフォード／作・絵 増田沙奈／訳
フレール館

『75億人のひみつをさがせ!』
おくにん
クリスティン・ローシフト／作 ひだにれいこ／訳
岩崎書店



まめちしき ◇豆知識コーナー◇ 将棋はいつごろからあるの?

「平安時代には遊ばれていたんだ!」

将棋の起源は、約2000年前の古代インドと考えられています。
日本へはいつごろ、どのような国をへて伝わってきたかはよくわかっていません。
日本最古の駒は、1993年に奈良県奈良市の興福寺旧境内から出土し、
天喜6年(1058年)ごろのものと考えられています。この当時から、駒の形は
現在のものと同じく五角形でした。
江戸時代になると、将棋のルールがととのえられ、
庶民のあいだにも娯楽として広まっていきました。



そんなに前から?!
ビックリ!!

参考資料 『将棋のすべて 2将棋うんちく王になろう』 村瀬信也／監修 岩崎書店